

令和元年度 施策評価表

施策	1702 新幹線を活かしたまちづくり	施策担当部	都市整備部	部長	増田 正治
		施策担当課	新幹線まちづくり課	課長	森 幸則
施策の方針	九州新幹線西九州ルートを整備するとともに、まちづくりの拠点となる新幹線新大村駅（仮称）周辺や車両基地周辺の整備を進め、観光やビジネスなど多様な交流を推進する。				

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 新幹線新大村駅（仮称）周辺整備事業の進捗率	%	0.5	6.0 5.0	38.0 28.6	57.0 34.4	75.0	89.1	60.4%	38.6%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新幹線の整備については、鉄道・運輸機構等との関係機関と連携を図りながら整備促進を図るとともに、広報誌やホームページ等により広報活動を行った。

新大村駅（仮称）周辺地区については、土地区画整理事業における仮換地の指定を終え、街路や宅地等の整備に着手した。

新大村駅周辺整備事業において、仮換地指定における住民合意の取得に時間を要したためH30目標値には至らなかったが、概ね順調に進捗している状況である。

施策経費

(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,754,689	3,316,667	5,326,781	
	国庫支出金	763,390	282,050	1,304,934	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	836,477	1,220,012	2,284,100	
	その他	0	0	0	
	一般財源	154,822	1,814,605	1,737,747	
	人件費	102,817	115,148	-	
フルコスト	1,857,506	3,431,815	-		

施策の概要

170201	新幹線の整備促進	九州新幹線西九州ルートの開業に向け、関係機関や関係自治体と連携しながら、着実な整備を促進します。
170202	新幹線新大村駅（仮称）周辺の拠点の形成	新幹線新大村駅（仮称）周辺の基盤整備を行い、高い交通利便性を活かして、企業誘致や定住促進等に取り組みます。 また、車両基地の整備に伴い、周辺部への関連企業の誘導を図るとともに、新たな観光資源として活用するなど、立地を活かした取組を進めます。
170203	多様な交流の促進	九州新幹線西九州ルートの開業に向け、魅力的な観光地づくりなど、受入体制の整備に取り組むとともに、ビジネスや学術など、多様な交流活動を促進するため、積極的な情報発信に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成 する上での 問題点・課 題	現在、令和4年度開業に向け、ハード整備は着々と進みつつあるが、新幹線を最大限に活かしたまちづくりに結び付けていくためには、官民が一体となった機運醸成への取り組みや、魅力的な新大村駅前となるための民間企業の誘致及び交通結節点としての2次交通・3次交通の充実が課題である。
------------------------------	--

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--	--

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方	新幹線の開業効果を高め、広く波及させるため、平成31年3月に大村市新幹線開業アクションプランを策定した。実施については、「大村市新幹線まちづくり推進協議会」を「大村市新幹線アクションプラン推進協議会」と改称し、官民が一体となって取り組むために、協議会に実施本部を設置し実施のための準備を進めている。アクションプランの実施には、関係団体及び沿線市等との連携と活動を更に強化することが求められるため、それらの取り組みに対する予算の確保を行うこととする。また、新大村駅前の一体開発を行う事業者の選定を令和元年度に実施する予定
--	---

令和2年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	